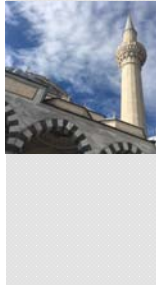


## トルコ系エスニシティ

代々木上原・下北沢  
～オリエンタルな文化・人々～



## 目次



- ・◎トルコの基本情報
- ・◎トルコ国内の宗教について
- ・◎イスラム教の基本情報
- ・◎インタビュー① 東京ジャーミーの方から
- ・◎インタビュー② 下北沢の飲食店経営の方から

トルコ  
国家の  
基本情報

- 人口
- 面積
- 宗教



## 人口

78,741,053人

## 面積

780,576平方キロメートル

埼玉県蕨市には約2000人のトルコ人が！

トルコ人の宗  
教

- ・99%の人が**イスラム教**（スンニ派）
- ・その他ギリシャ教徒、アルメニア教徒、ユダヤ教徒など
- ・政教分離され宗教の自由が認められている
- ・戒律は比較的緩く、若者は**自由な格好**をしているが、モスクでは**1日5回祈りが捧げられ、豚肉は食べない**などの規律は守られている
- ・イスラム教では一夫多妻制が認められているが、トルコでは**一夫一妻制**の法律が制定されている

イスラム教の  
基本情報

- ・唯一の神（アッラー）を信じる**一神教**
- ・五つの柱
  - ①**信仰告白**  
・・・アッラーが唯一の神であり、ムハンマドは神の使徒であると言う
  - ②**礼拝**・・・一日五回聖書を暗誦する
  - ③**ラマダーン**・・・太陽暦の第9月は一か月間断食する
  - ④**貴社**・・・困窮を助けるためにお金を寄付する
  - ⑤**巡礼**・・・可能ならば、一生に一度メッカへ巡礼する

## イスラム教徒の食習慣

- ・食事は一日三回、禁止された食材を避け、外食をしない人もいる
- ・禁止される食材⇒豚・血液・宗教上の適切な処理がされていない肉・アルコール・ウナギ・イカ・タコ・貝類・発酵食品
- ・海外から輸入した肉類の食材や食品は、「ハラルマーク」が付いているもののみ食べられる
- ・イスラム法で合法的なものはハラル、それ以外はハラムと称する

## 東京ジャーミーについて



- ・イスラム教徒が礼拝を行う日本最大のモスク
- ・小田急代々木上原駅近くに所在
- ・礼拝の時間になるとスピーカーからアザーンが流れる
- ・2000年に開設
- ・トルコ政府と日本政府の協力、在日トルコ人ムスリムのボランティアによって運営されている。
- ・礼拝堂のほか、トルコ文化センターも併設



## 日本におけるエスニシティとしての難点

- ザカリヤさんにインタビュー
- ・日本に来て30年
  - 短期滞在のつもりで日本にきて以来、移住することに。
  - ・ハラールフードの入手
    - ⇒輸入品に頼っている
  - ・毎日礼拝に来れないこと
    - ⇒日本のライフスタイルとのギャップ

ザカリヤさんにインタビュー

イスラム文化を日本で完璧に行うのは困難。しかしそれについて苦しんでいるというよりは、寛容的に対処している。

- ・信仰心の強さは個人差がある。
- ・帰りたいときにいつでも戻れるのがモスクのあるべき姿である。= 悪い場として浸透することを優先

## 下北沢商店街のエスニックコミュニティ

- ・◎オールハンさんへのインタビュー
- ・日本でのトルコ人ネットワークについて
- ・在日トルコ人の雇用事情
- ・日本で生活するに当たって感じるギャップについて

## 日本社会におけるエスニシティとして直面している課題 3つ

- 1) モスクの騒音問題
- 2) 規律の厳しいイスラム教徒の暮らしが日本でも成り立っているか
- 3) 不法滞在問題
- 4) トルコ人というアイデンティティよりもムスリムというアイデンティティに対して向けられる偏見や差別の視点

## 1) モスクの騒音問題

- ・ 礼拝は一日5回
- ・ 早朝5時ごろの1回目と、日の出6時過ぎに行われる礼拝時のアザーン

## 2) ムスリムとしての暮らし

- ・ ◎生活パターンの違い
- ・ 日本の時間感覚の中で生活を行うにあたって、
- ・ イスラム教信者として生活パターンを柔軟にさせる
- ・ えなかった部分

## 3) 不法滞在の問題

- ・ ◎ケババスタンド
- ・ トルコ人はビザなしで最大90日間まで
- ・ 日本滞在が可能であるため、短期滞在目的で
- ・ 入国するトルコ人が多い。
- ・ →ケババスタンドが急激に増加している背景には
- ・ これらの方法で入国したトルコ人が不法滞在を
- ・ している問題も潜んでいる。
- ・ ◦ドネルケババ屋という業種を作りあげ、発展させた

## 4) イスラム教への差別

- ・ ◎日本とトルコは歴史上友好的な関係を築いてきたので
- ・ 「在日トルコ人」というアイデンティティに対する
- ・ 日本人の偏見は比較的目立たない。
- ・ ◎しかし、近年世界的な問題となっているISISの台頭や
- ・ イスラム過激派の報道により、イスラム教信者に対する
- ・ マイナスイメージの宣伝効果が安易に広まってしまっ
- ・ ている。
- ・ ◎宗教面に対する差別意識の問題に直面している。

## まとめ

- ・ 日本でトルコ人が直面している課題は、
- ・ イスラム教信者としての生活に関わる事柄が多い。
- ・ インタビューからもわかるように、トルコ人の
- ・ 宗教意識は比較的緩やかであり、信仰に対して
- ・ 個人差があることを互いによく理解している点が
- ・ 特徴的である。
- ・ 異質な文化や価値観に対する許容の範囲が広く
- ・ その姿勢は日本におけるトルコエスニシティを
- ・ 築く上で有効であるが、その分、
- ・ 彼らのアイデンティティや権利を守るための努力が
- ・ 意識的になされなければならない。

## 参考文献

- ・ <http://turkey.kororo.jp/cont/whatturkey.php>
- ・ <http://islaam.ninja-x.jp/qanda.htm>
- ・ <http://www.mlit.go.jp/common/000116946.pdf>
- ・ <http://neo-pro.jp/makoto/shinbun/honbun/00025.html>

## 画像出典

- ・ トルコ国旗
- ・ <https://ja.wikipedia.org/wiki/トルコの国旗>
- ・ その他画像
- ・ フィールドワーク時に撮影（1月9日 東京ジャーミイ）